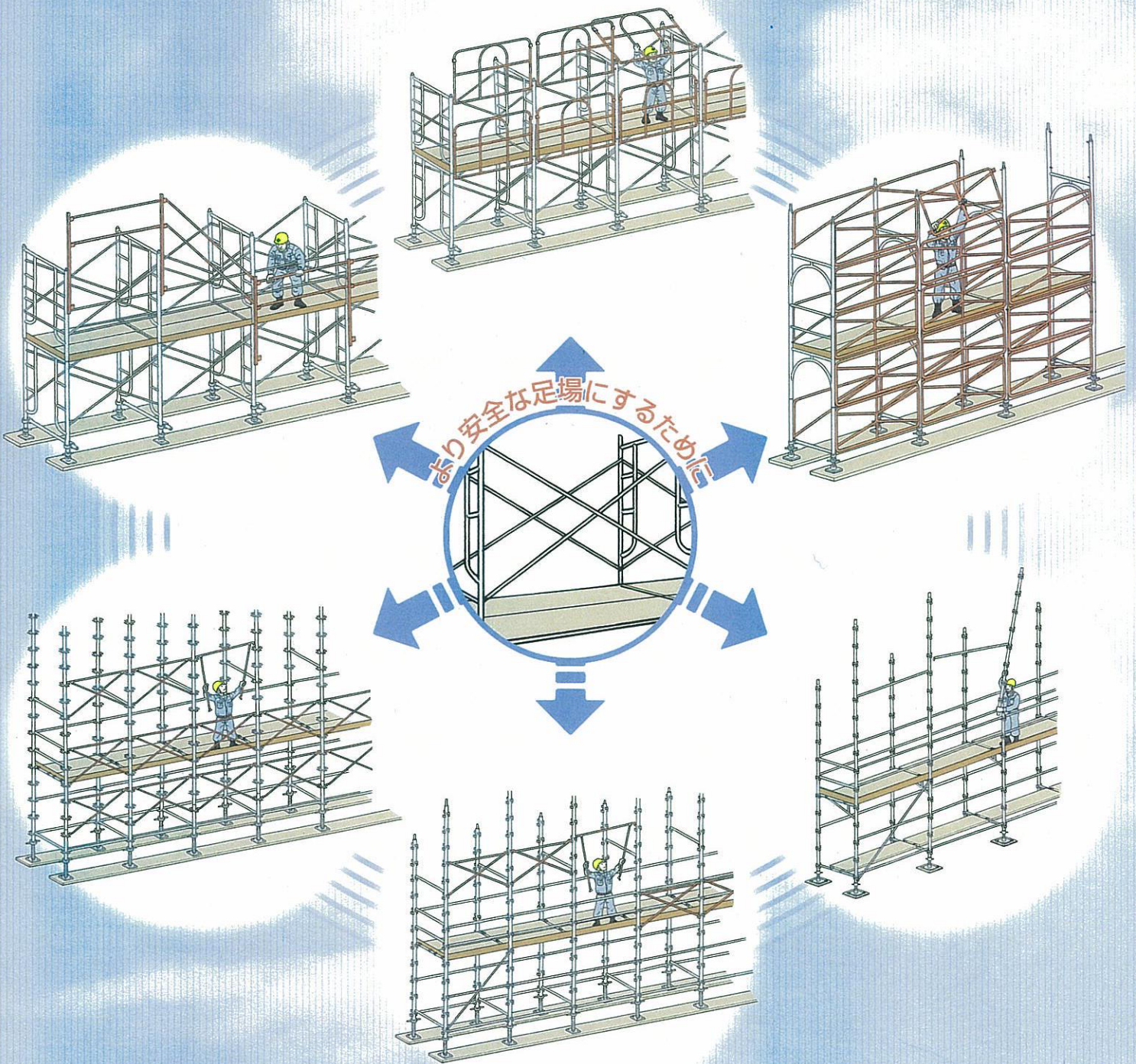


手すり先行工法等に関するガイドラインの普及・定着に向けて

手すり先行工法及び 働きやすい安心感のある足場 足場からの墜落災害をなくしましょう!



はじめに

建設業における死亡災害を災害の種類別に見ると、墜落によるものが最も多く、その中でも足場からの墜落災害が高い割合を占めています。このため足場からの墜落災害を撲滅することは、建設業における死亡災害を防止する上で最重要課題といえます。この課題を解決する対策の一つとして、足場の組立て・解体を行う作業床の最上層に常に手すりがある「手すり先行工法」が有効と考えられることから、平成15年4月厚生労働省より「手すり先行工法に関するガイドライン」が策定されました。

今般、足場等に関する労働安全衛生規則が改正されたことを受け、新たに「手すり先行工法等に関するガイドライン」が策定されました。

これにより、手すり先行工法及び働きやすい安心感のある足場が定着し、足場からの墜落災害がなくなることが望まれます。

手すり先行工法等に関するガイドライン

「手すり先行工法等に関するガイドライン」は、足場を必要とする建設工事の足場について、手すり先行工法により組立て・解体される足場の基準と、働きやすい安心感のある足場の基準の2つから成り立っています。

手すり先行工法は、足場の組立時に作業床に乗る前に当該作業床の端となる箇所適切な手すりを先行して設置し、かつ、解体時にも作業床を取外すまで必ず手すりが残置されている工法です。

働きやすい安心感のある足場は、手すり先行工法で組立てられた足場上でより安全な作業を行えるように必要な措置を講じた足場です。

建設業における死亡災害

- 約4割が「墜落」による災害
- 「墜落」のうち約2割が足場から

足場上での作業時、足場の組立て・解体時に、手すり等が不完全な状態からの「墜落」

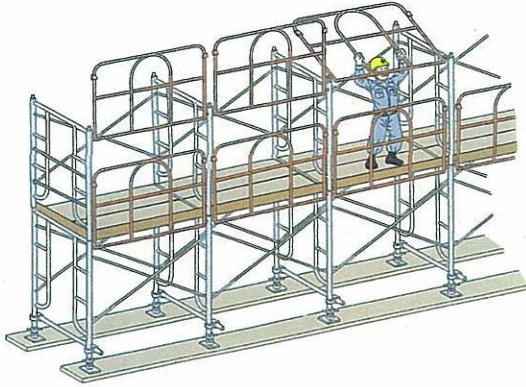
足場からの墜落災害を防止し、併せて、快適な職場環境を形成するために…

「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省)

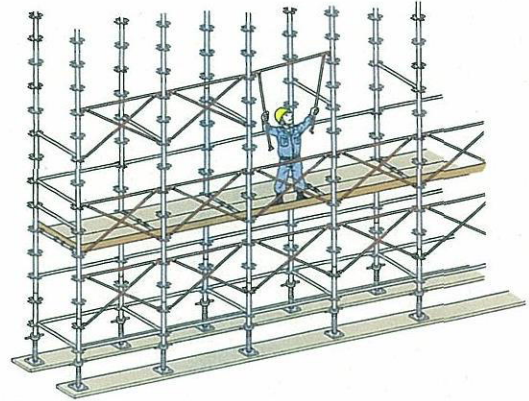
- 手すり先行工法による足場の組立て等の作業を行う。
- 働きやすい安心感のある足場を使用する。

手すり先行工法の種類

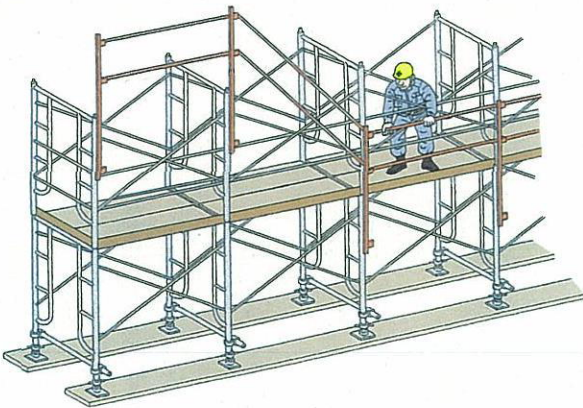
※わく組足場及びくさび緊結式足場の手すり先行工法足場の一例です。なお、本リーフレットにある手順例等は、建物側は墜落による危険がない場合の例です。



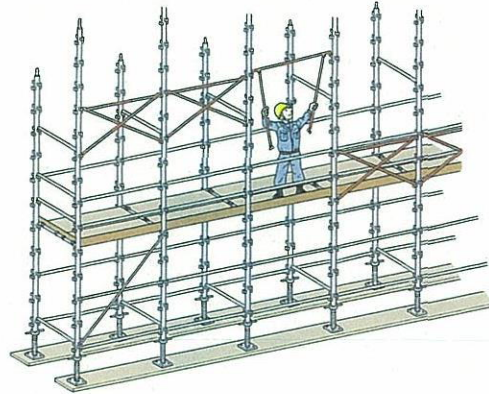
わく組足場の手すり据置き方式



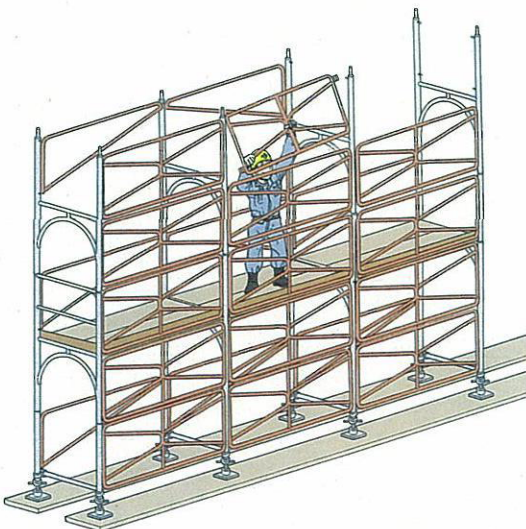
くさび緊結式足場の手すり据置き方式



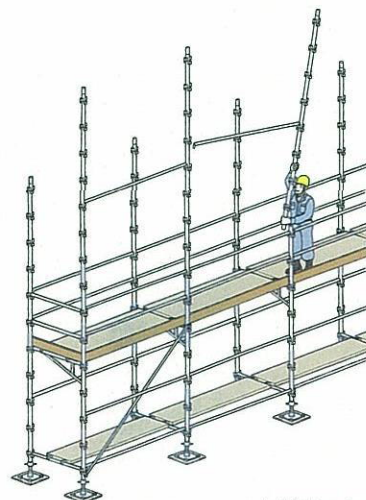
わく組足場の手すり先送り方式



くさび緊結式足場の手すり先送り方式



わく組足場の手すり先行専用足場方式



支柱にあらかじめ
先行手すりを取り付ける方式
(※木造家屋等低層住宅建築工事専用)

働きやすい安心感のある足場

1 趣旨

足場上の高い緊張状態が要求される作業を改善し、より安全な作業を行えるようにするためには、関連する労働安全衛生関係法令のすべての規定を満たした上で、以下の基準を満たす働きやすい安心感のある足場とすることが重要です。

2 設置すべき働きやすい安心感のある足場

次のものがあります。

(1) 手すり据置き方式又は手すり先行専用足場方式で組み立てられた足場であって、手すり、中さん及び幅木の機能を有する部材があらかじめ足場の構成部材として備えられているもの（「手すり先行専用型足場」）。

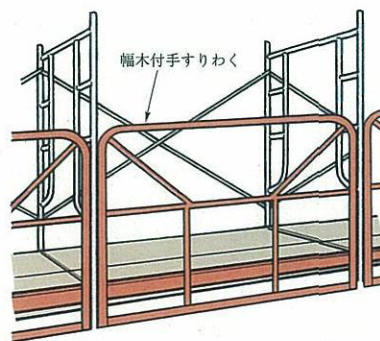
(2) 手すり先送り方式及び手すり据置き方式で組み立てられた足場であって、足場の種類ごとに次の措置を講じたもの。

ア わく組足場（妻面を除く）にあつては、

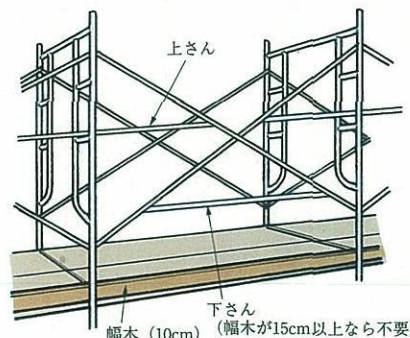
(ア) 交さ筋かいに高さ15センチメートル以上40センチメートル以下のさん（下さん）若しくは高さ15センチメートル以上の幅木又はこれらと同等以上の機能を有する設備を設けた上で、上さんを設けたもの又はこれらの措置と同等以上の機能を有する手すりわくを設けたもの。

(イ) 防音パネル、ネットフレームの設置等（ア）と同等以上の措置を講じたもの。

イ わく組足場以外の足場（わく組足場の妻面を含む）にあつては、高さ85センチメートル以上の手すり又はこれと同等以上の機能を有する設備（手すり等）及び高さ35センチメートル以上50センチメートル以下のさん又はこれと同等以上の機能を有する設備（中さん等）を設けた上で幅木を設けたもの又はこれと同等以上の措置を講じたもの。



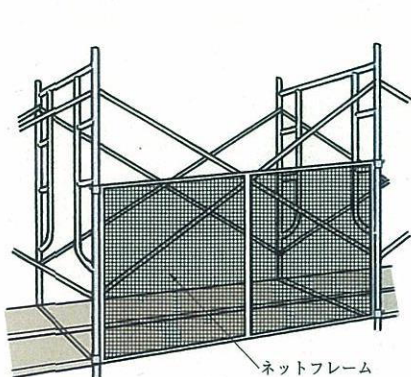
手すり先行専用型足場の例



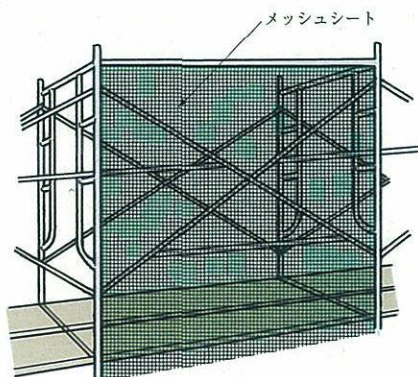
わく組足場に下さん、幅木及び上さんを取付けた例

3 メッシュシート等の設置

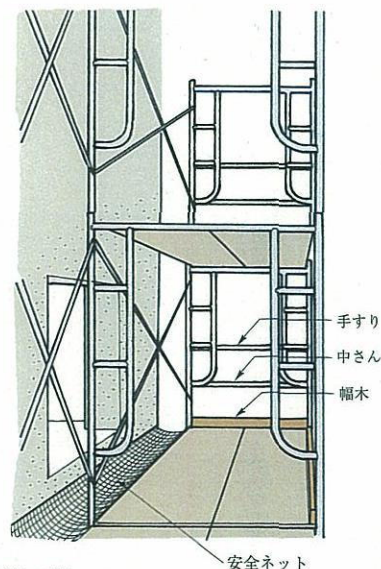
2の足場に墜落災害の防護のため、メッシュシート、安全ネットを設置することが望ましいこと。



ネットフレームを取付けた例



メッシュシートを取付けた例



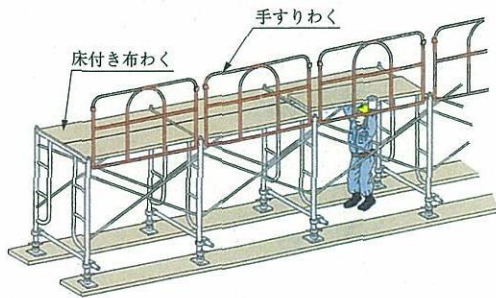
・妻側の例
・躯体と足場間に安全ネットを取付けた例

手すり据置方式の組立て手順例

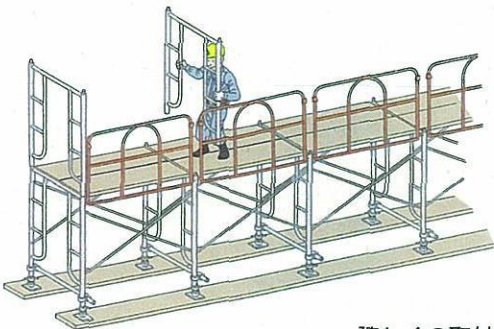
わく組足場



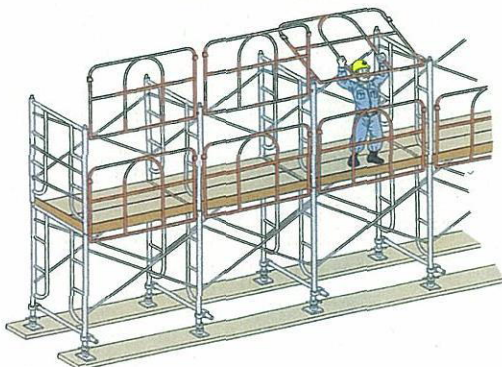
据置手すり機材の取付け



床付き布わくの取付け

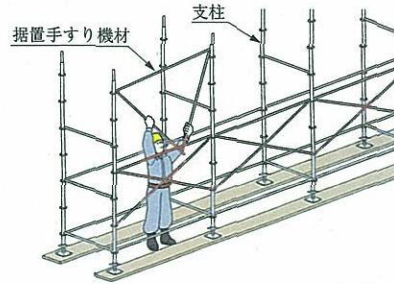


建わくの取付け

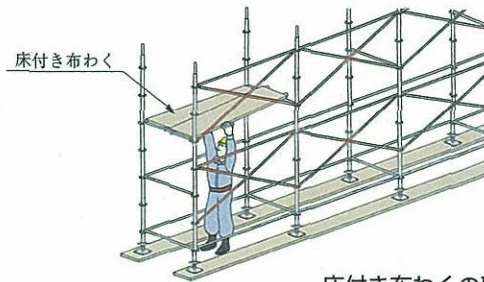


据置手すり機材の取付け

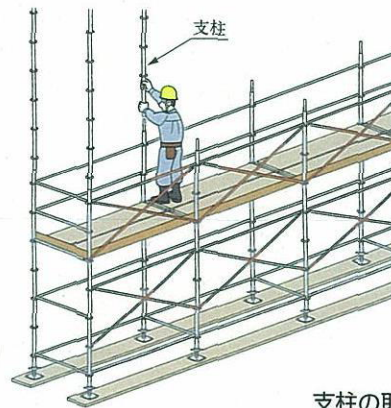
くさび緊結式足場



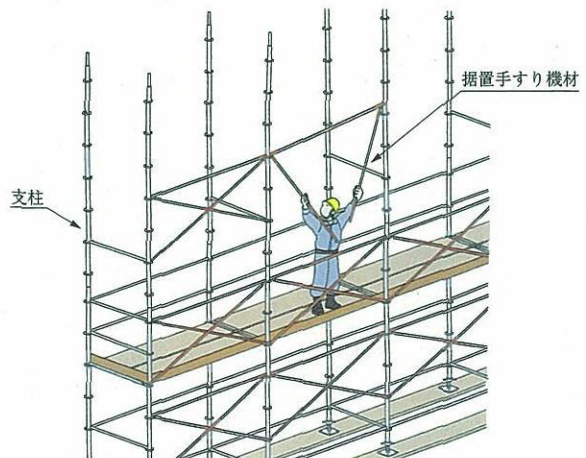
据置手すり機材の取付け



床付き布わくの取付け



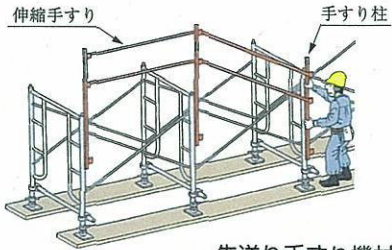
支柱の取付け



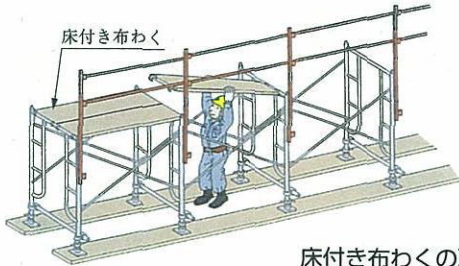
据置手すり機材の取付け

手すり先送り方式の組立て手順例

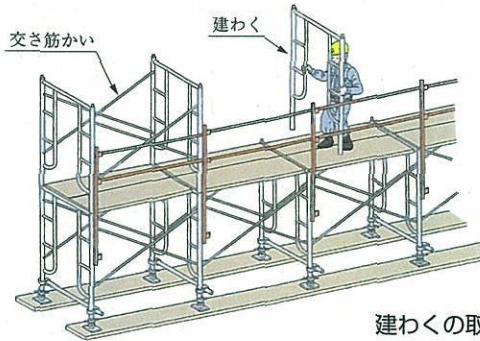
わく組足場



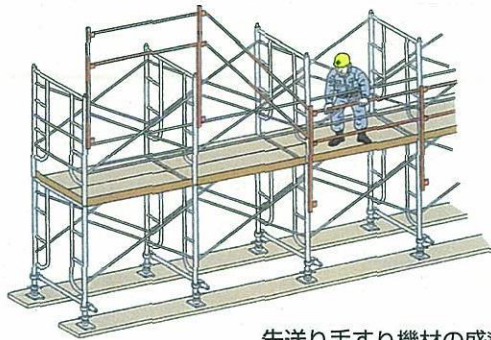
先送り手すり機材の取付け



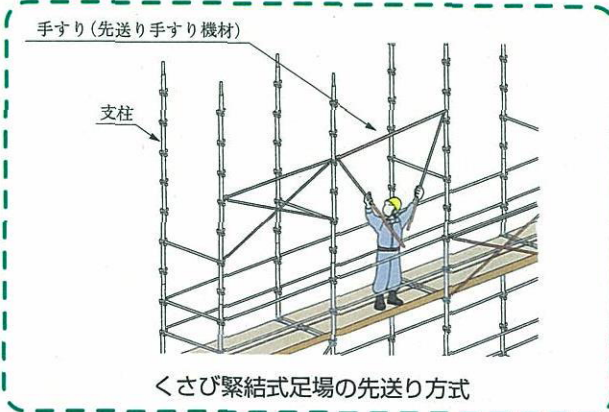
床付き布わくの取付け



建わくの取付け

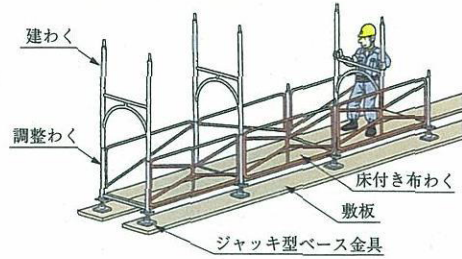
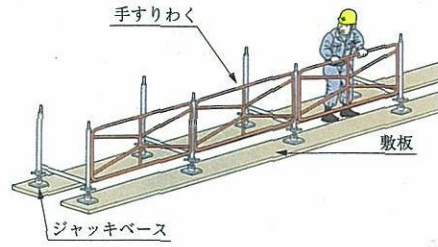


先送り手すり機材の盛替え



くさび緊結式足場の先送り方式

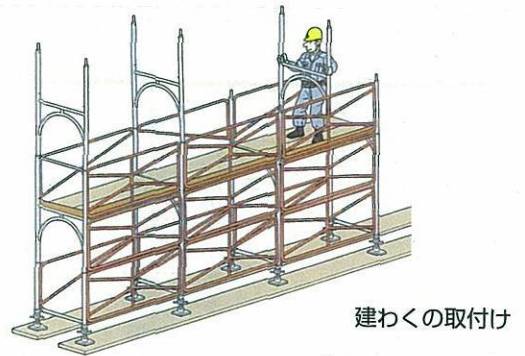
手すり先行専用足場方式の組立て手順例



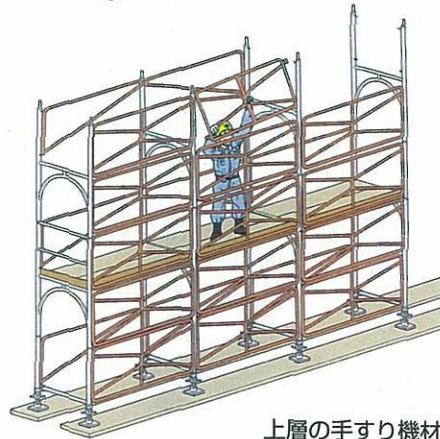
1層目手すり機材の組立て



2層目手すり機材の組立て



建わくの取付け

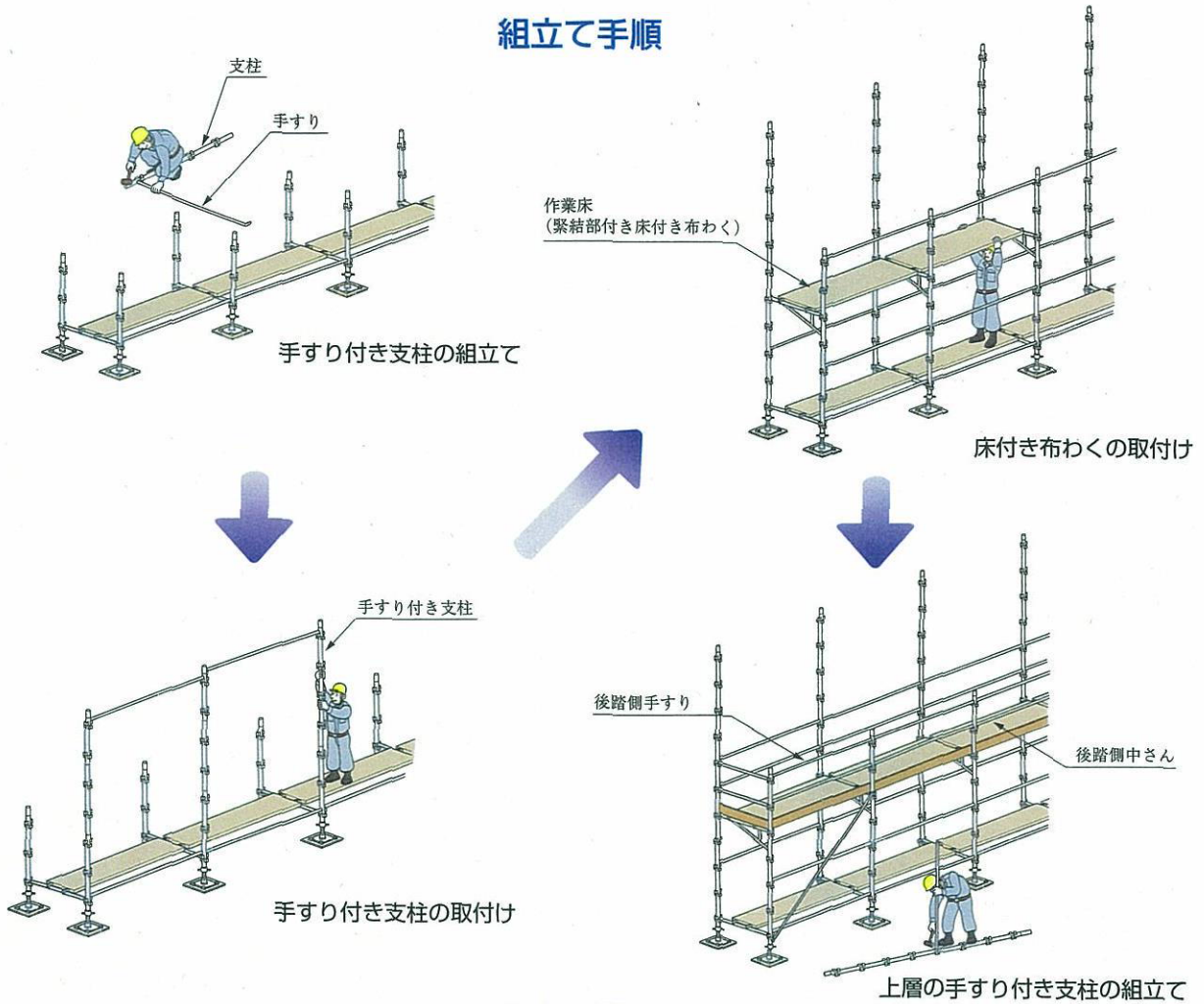


上層の手すり機材の取付け

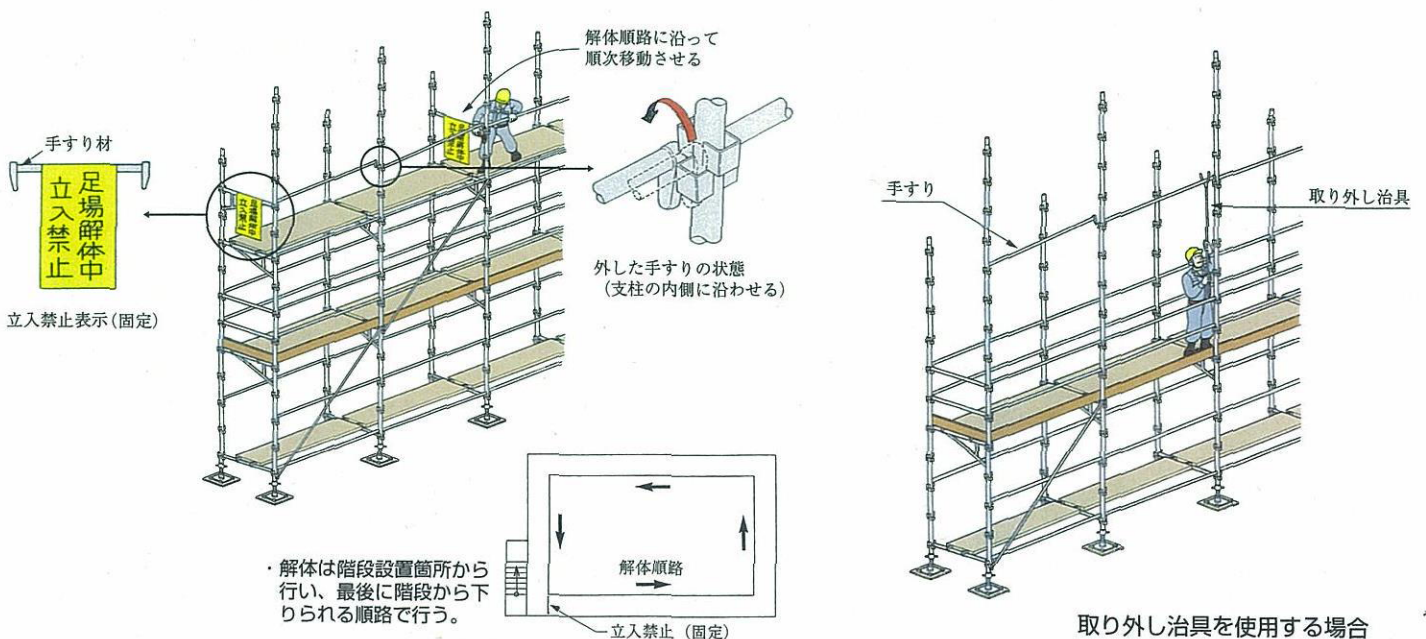
支柱にあらかじめ先行手すりを取付ける方式 (木造家屋等低層住宅建築工事専用足場)の組立て・解体手順例

- ・先行して取り付ける手すりは軽量部材（専用手すり）が望ましい。
- ・専用手すりを使用する場合は、中さんに布材兼用の部材を使用し、支柱に確実に固定する。

組立て手順



解体手順



手すり先行工法安全対策推進事業

建設業労働災害防止協会では、厚生労働省からの委託を受けて、「手すり先行工法安全対策推進事業」を実施しています。

手すり先行工法に関する事業は、平成16年4月より建災防本部及び都道府県支部において、厚生労働省、都道府県労働局及び労働基準監督署の指導・連携のもとに、足場の設置を必要とする建設工事を行う事業者、足場設置工事事業者、足場部材等貸与事業者等を対象として、手すり先行工法による足場設置及び働きやすい安心感のある足場を支援するものです。

主な事業内容

○手すり先行工法に関する説明会の開催

手すり先行工法等に関するガイドライン周知のため、事業者団体・足場工事事業者等を対象に各種工法等の説明会を開催します。

○手すり先行工法による工事の実施に対する支援等

手すり先行工法等に関するガイドラインに基づいて、中小規模のビル建築工事及び木造住宅建築工事等の足場を設置する事業者等に対して、足場の組立等工事の実施に要する経費についての支援、作業手順書の作成等に伴う技術的支援を行います。

○パトロールの実施

手すり先行工法等に関するガイドライン普及のため、施工現場等に対してパトロールを行います。

○事業者団体・足場工事事業者等関係団体への安全活動に対する支援等

団体が主催する手すり先行工法等に関するガイドラインの研修会、安全パトロール等の安全活動に対して、技術的支援等を行います。

建設業労働災害防止協会

〒108-0014 東京都港区芝5-35-1 産業安全会館7階

TEL 03-3453-8201(代) FAX 03-3456-2458

URL <http://www.kensaibou.or.jp/>